

第6次基本計画 (令和2年度実施状況)

施策評価表

第2節 5つのまちづくりの目標に関する取組

第3 学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち

1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実

基本施策 19 義務教育の充実

基本施策 20 高校・大学・各種教育機関の充実

2 人が輝き文化の薫るまちづくりの推進

基本施策 21 生涯学習の推進

基本施策 22 市民スポーツの推進

基本施策 23 文化芸術の振興

基本施策 24 国際・国内交流の推進

基本施策19 義務教育の充実

現況と課題

高度情報化、少子高齢化などの社会の激しい変化の中で、持続可能な社会の形成に向け、課題を自ら見つけ主体的に解決しようとする能力の育成が学校教育に求められています。一方で、価値観の多様化やコミュニケーションなどの社会経験の不足を背景として、いじめや不登校などが深刻な課題として指摘されています。このような中で、「確かな学力」の定着を図り、「豊かな心」を育むことが強く求められています。そのため、学校間の連携を強めるとともに、学校・家庭・地域社会が協働的に子どもを支え育み、児童生徒が主体的に学びを進める授業改善が必要となります。また、豊かな人間の育成には、心の教育の充実を始め、道徳教育の更なる取組の強化が課題となります。

教育の充実を進める基盤として、教育施設・設備の充実が急務ですが、建築年度の古い校舎や屋内運動場が多い状況にあります。そのため、適正配置を考慮した上で、耐震化や老朽化対策を含む改築・改修を進め、安全が確保された教育環境を整備していく必要があります。

基本目標

国際的な視野で活躍することが求められる未来を担う児童生徒が、個性や能力をいかし、実社会で「生きる力」を育み、社会を支える「自立」した人間になるための教育内容の充実と教育環境の整備を図ります。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市小・中学校施設整備計画

主要施策

1 地域・学校等が連携した教育の推進

SDGs
17の目標



施策番号	「チーム学校」の充実に向け、地域とともに学校を運営するコミュニティ・スクールの設置を推進します。
2311911	

担当部・課	教育部 学校教育課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	【勇払地区】	【開成中学校区】					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会設置 (4月) ・ 学校運営協議会委員の任命 (4月) ・ 第1回学校運営協議会 (5月) ・ 小中合同ゴミ拾い (8月) ・ 第2回学校運営協議会 (8月) ・ 第3回学校運営協議会 (11月) ・ 第4回学校運営協議会 (R3年2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営協議会設置 (4月) ・ 学校運営協議会委員の任命 (4月) ・ 第1回学校運営協議会 (5月) ・ 第2回学校運営協議会 (8月) ・ 清水小公開研究会 (10月) ・ 第3回学校運営協議会 (11月) ・ 第4回学校運営協議会 (R3年2月) 					
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	学校運営協議会出席率 (勇払地区) (H30・R1はCS推進委員会出席率)	%	(95)	(84)	100		
	学校運営協議会出席率 (開成中学校区) (R1はCS推進委員会出席率)	%	—	(97)	100		
	CS設置地区数 (H30・R1はCSモデル地区数)	地区	(1)	(2)	2		
今後の取組の方向性	平成30年度に勇払地区、令和元年度に開成中学校区でモデル地区としてCSを実施し、令和2年度から両地区でCS本実施としました。今後は令和4年度以降の他地区でのCS導入に向けて、取組を進めます。						

1 地域・学校等が連携した教育の推進

SDGs
17の目標



施策番号	校種間の連携を充実させ、義務教育9年間が一貫・連続した教育内容となるよう取組を推進します。
2311912	

担当部・課	教育部 指導室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	15中学校区における、苫小牧市学校教育力向上マスタープラン及び苫小牧型小中連携教育「Tomakomai-ALL・9」に基づいた活動計画の作成及び取組の推進						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	Tomakomai-ALL・9 PLANの作成率	%	100	100	100		
	取組の交流等に係る各種連絡協議会の開催	%	5	2	1		
	校務支援システムやICTを活用した各部会の打合せ回数(平均)	回	10.0	12.3	12.3		
今後の取組の方向性	小・中学校区間の円滑な接続は、今後ますます求められる視点となることから、各中学校区における苫小牧型小中連携教育「Tomakomai-ALL・9」に基づいた活動計画の作成及び取組のさらなる充実が求められます。会議や打合せの開催については、ICTを活用した開催も推進していきます。						

2 教育内容の充実

SDGs
17の目標



施策番号	授業改善の徹底した取組に向けて、教職員向けの指導資料の作成や実践的な研修講座を開設するなどして、確かな学力を育むための研究を推進します。
2311921	

担当部・課	教育部 指導室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	教職員向け指導資料「授業改善Leaf」、 「苫小牧っ子学力UP!ハンドブック」の発行及び実践的な研修講座の開催						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	「授業改善Leaf」の発行計画達成	%	100	100	100		
	「苫小牧っ子学力UP!ハンドブック」の発行計画作成	%	-	-	100		
	実践的な研修講座の参加者数	人	392	176	262		
今後の取組の方向性	新学習指導要領が小学校は令和2年度から全面実施、中学校は令和3年度から全面実施となり、これから求められる指導技術等の研修をさらに推進する必要があります。このことから、教職員向け指導資料「授業改善Leaf」、 「苫小牧っ子学力UP!ハンドブック」の作成・周知及び実践的な研修講座の開催に努めてまいります。						

2 教育内容の充実

SDGs
17の目標



施策番号	国際理解や英語を中心としたコミュニケーションスキルの向上のため、体験的学習機会の拡充に努めます。
2311922	

担当部・課	教育部 指導室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	外国語指導助手 (ALT) の市内全小・中学校への派遣及び小学校外国語専科教員配置による、体験的学習機会の拡充						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ALTの市内小・中学校への派遣率	%	100	100	100		
	小学校外国語専科教員の勤務校	校	9	9	9		
今後の取組の方向性	学習指導要領の全面実施及び外国語への関心・意欲の向上のため、ALTを増員し、市内全小・中学校へ通年で派遣するとともに、小学校外国語専科教員の効果的な活用に努め、体験的学習機会の拡充を進めて参ります。						

2 教育内容の充実

SDGs
17の目標



施策番号	いじめや不登校問題の解決に向け、豊かな心を育む道德教育の充実を図るとともに、児童生徒及び保護者の教育相談体制等の充実を図ります。
2311923	

担当部・課	教育部 指導室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 子ども専用悩みごと相談メール・電話の設置 不登校児童生徒を対象とした学校適応指導教室の運営 「苫小牧市いじめ問題子どもサミット」については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	子ども専用悩みごと相談メール・電話対応件数	件	12	54	21		
	学校適応指導教室入級児童生徒数	人	30	32	31		
今後の取組の方向性	<p>「苫小牧市いじめ問題子どもサミット」参加人数</p> <p>学校に悩みを相談できない子どもたちが、第三者に打ち明け課題解決に向かうことができるように、子ども専用悩みごと相談メール・電話を設置してまいります。 教育相談体制等の充実に向け、学校適応指導教室専任指導員、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育相談員が学校訪問を行い、不登校巡回相談を行ってまいります。 いじめの問題解決に向けて、各学校において児童生徒が主体となった取組を継続して行う必要があります。このことから、「苫小牧市いじめ問題子どもサミット」を開催し、いじめを根絶するために自分たちができることや、具体的な取組について検討する場の工夫をしてまいります。</p>						

2 教育内容の充実

SDGs
17の目標



施策番号	学校図書館の充実により、確かな学力、豊かな心を育むほか、自主的・探求的な学習活動を促進します。
2311924	

担当部・課	教育部 指導室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	小学校への学校司書配置、学校図書館の電算化による学校図書館の積極的な活用の推進						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	小学校学校図書館における一人当たりの年間貸出冊数	冊	30.0	29.3	26.6		
	中学校学校図書館における一人当たりの年間貸出冊数	冊	3.4	4.6	4.4		
今後の取組の方向性	確かな学力の定着や心の成長を促進するために、児童生徒の読書量の増加を図る必要があります。このことから、小学校への学校司書配置や学校図書館の電算化による学校図書館の積極的な活用及び、小・中学校における授業での学校図書館の活用を促進するよう努めて参ります。						

3 特別支援教育の充実

SDGs
17の目標



施策番号	通級指導教室を拡充するなど、連続性のある多様な学びの場の用意を進めていきます。
2311931	

担当部・課	教育部 指導室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 通級指導教室担当者連絡会議の開催 通級指導教室担当者向けの研修会を複数回実施 通級による指導研究委員会を設置 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	通級指導教室活用児童生徒	人	407	462	497		
	通級指導教室担当者	人	26	29	30		
今後の取組の方向性	通級指導教室担当者の専門性向上のために研修の推進や研究委員会教諭による公開授業を行い、先導的な取組の普及・推進を図ってまいります。						

3 特別支援教育の充実

SDGs
17の目標



施策番号	それぞれの学びの場における体制整備を図ります。通常の学級においては、特別な支援を必要とする児童生徒の学習支援を行う特別支援教育支援員を配置し、特別支援学級においては、日常生活の介助を行う介添員を配置します。
2311932	

担当部・課	教育部 指導室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員は、小学校23校、中学校13校、計37校、学校適応指導教室（あおば学級）、市立病院の院内学習支援教室に合計48名の支援員を配置しました。 介添員は、小学校の17校、中学校の3校に、計20校32名の介添員を配置しました。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	特別支援教育支援員	人	42	45	48		
	介添員	人	31	30	32		
今後の取組の方向性	各学校における特別支援教育支援員・介添員配置の要望に応え、適切に配置するとともに児童生徒への支援の質を高めるため、特別支援教育支援員に対する研修を充実することが必要となります。						

3 特別支援教育の充実

SDGs
17の目標



施策番号	児童生徒の障がいの特性に応じた指導を行うために、教員の専門性を高める研修の充実を図るとともに、教育支援委員会等の関係機関と連携し、適切な教育的支援を行います。
2311933	

担当部・課	教育部 指導室	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育に関する研修の複数回実施 教育支援委員会を複数回実施し、児童生徒の障害に応じた適切な学びの場を検討 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	特別支援教育に関する研修会	回	7	9	5		
	教育支援委員会で適切な学びの場を検討した児童生徒数	人	656	707	774		
今後の取組の方向性	<p>困り感を抱えている児童生徒数が年々増加しており、教員の専門性を高める研修の充実が求められております。</p> <p>教育支援委員会において、児童生徒に適した学びの場の検討が必要であり、各学校において障害に応じた体制整備を行っていく必要があります。</p>						

4 施設・設備の充実

SDGs
17の目標



施策番号	学校施設の耐震化や老朽化対策を目的とした改築・改修を進め、教育環境の向上に努めます。
2311941	

担当部・課	教育部 施設課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	---------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p><増改築事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震化や統廃合等に係る改築工事・解体工事・実施設計業務などを実施 (苫小牧東小中・緑小・清水小・樽前小・啓北中・光洋中・青翔中) <p><改修事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化対策や安全性向上のための改修工事を実施 (澄川小ほか13校) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	学校施設の耐震化率	%	93.8	96.4	99.4		
今後の取組の方向性	<p>学校教育をめぐっては、「生きる力」を育み、「豊かな人間性の育成」を目指し、心の教育の充実を図っていくことが求められています。</p> <p>そのためには、教育の充実を進める基盤として教育施設・設備の充実が必要となることから、適正配置を考慮した上で、耐震化や老朽化対策を含む改築・改修を進め、安全性が確保された教育環境の整備を進めていきます。</p>						

4 施設・設備の充実

SDGs
17の目標



施策番号	給食施設の整備及び給食内容を充実し、安全・安心な給食の提供に努めます。
2311942	

担当部・課	教育部 学校給食共同調理場	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	---------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 「学校給食食物アレルギー対応の基本方針」改定に向けたアンケート調査、協議、検討等 令和4年1月から2献立になった場合の献立の検討、提供するあえ物の試作 第2学校給食共同調理場の建設工事 小学校給食配膳用ワゴンの整備 非常食の備蓄 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	非常食備蓄数	千食	7	10	13		
今後の取組の方向性	<p>令和4年1月から第2学校給食共同調理場の稼働が始まり、これまでの3献立から2献立になり、また、あえ物を提供することになります。加えて、令和4年4月から対応するアレルギーを「卵」のみから「卵・乳」に拡大します。</p>						

基本施策20 高校・大学・各種教育機関の充実

現況と課題

少子化が進み、中学卒業者が減少する中、教育水準の維持向上を図りつつ、生徒の多様なニーズや進路動向に対応するため、学校・学科の配置や規模の適正化が求められています。

大学や工業高等専門学校等については、地域社会の発展や地域で活躍する人材の育成を目指すとともに、より高度な専門知識と技術を享受し、人材の育成に努めています。

魅力あるまちづくりを進めるためにも、本市と高等教育機関との連携をより一層深めていくことが必要です。

基本目標

高等学校の教育水準の維持向上を図るとともに、経済的な理由から就学が困難な方にも教育が受けられるよう支援します。また、大学や工業高等専門学校との連携を一層強化することにより、地域の活性化と魅力向上を図ります。

主要施策

1 高等学校の充実

SDGs
17の目標



施策番号	私立高等学校における生徒活動の充実などのために必要な支援を行います。
2312011	

担当部・課	教育部 総務企画課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	私立高等学校においては公立高等学校と比較すると保護者の経済的負担が大きいため、生徒活動の支援として補助金の交付を行っている。 令和2年度の実績としては、駒澤大学附属苫小牧高等学校で3,912,000円、苫小牧中央高等学校で1,941,000円、苫小牧高等商業学校で1,983,000円の補助金交付を行った。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	補助金交付額	千円	7,548	7,515	7,836		
今後の取組の方向性	平成22年度より『高等学校等就学支援金制度』が導入され、平成26年度に一部改正されています。私立高校無償化の議論が活発になれば、その方向性の見直しを考える必要があります。北海道を含めた他自治体の動向、制度改正の状況も踏まえ、状況によっては本補助金の必要性やあり方について再考し、見直しを検討します。						

2 高等教育機関との連携

SDGs
17の目標



施策番号	各種高等教育機関と様々な分野で相互連携を促進します。
2312021	

担当部・課	総合政策部 政策推進課	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>平成31年4月から大学に市職員を配置し、緊密な連携を図るとともに、大学の安定した運営に不可欠である学生確保に向けた取り組みを支援しています。</p> <p>また、令和2年度は、コロナ禍での大学生等の生活や就学の継続を支援するため、支援金を支給したほか、これまでと同様に市職員による特別講座の開講や入試情報等の周知について協力しました。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	苫小牧駒澤大学の学生数(5月現在)	人	155	133	115		
今後の取組の方向性	<p>進学や就職のために市外に転出する若者が多い本市において、高等教育機関は、若者の定着に重要な役割を果たしています。</p> <p>今後も、市内唯一の4年制大学の安定的な運営に向けて、様々な支援を行ってまいります。</p> <p>また、包括連携協定に基づき、大学の発展や地域における生涯学習の振興のため、相互に協力してまいります。</p>						

3 育英制度などの充実

SDGs
17の目標



施策番号	就学における機会均等の確保と優れた人材を育成するため、育英制度などの充実に努めます。
2312031	

担当部・課	教育部 総務企画課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<p>経済的な理由から就学が困難な方に、教育を受ける機会を与えるため、奨学金の貸与を行います。</p> <p>令和2年度は実績として大学等11人、高専2人、高校等10人に総額4,920,000円の貸与、大学等11人、高専1人、高校等20人に総額2,316,000円の給付を行いました。</p>						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	奨学金等貸与額	千円	4,440	3,690	4,920		
	奨学金等給付額	千円	-	1,020	2,316		
今後の取組の方向性	<p>国の政策や他自治体の動向を見据えながら、現在の制度が現況に見合った制度となっているか引き続き精査を行います。</p>						

基本施策21 生涯学習の推進

現況と課題

少子高齢化や情報社会の進展、地域社会の変容、経済のグローバル化による雇用環境の変化など、社会構造の急激な変化に伴い、地域課題も複雑さを増す中で、市民の学習ニーズが多様化・高度化しています。生涯学習は個人の人生を豊かにするものであるとともに、学習成果を地域づくりやまちづくりにいかすことにより、社会全体の発展を実現する基盤になるものと期待されています。

これからの生涯学習は、生涯にわたってあらゆる機会、場所において学習することができ、その成果を適切にいかすことを目指し、「すべての世代が生き生きと活躍する学びの充実」に向けた生涯学習社会の実現とともに、社会や地域の様々な課題を解決するための取組を進めていくことが必要です。

基本目標

市民一人ひとりの生涯にわたる学習意欲を高め、あらゆる機会、場所において学習することができ、豊かな心と自立の力を育て、その成果を適切にいかすことのできる活力ある学びの環境づくりと、学びをいかした「人・つながり・環境」づくりに努めます。

関連する個別計画

- ・第五次苫小牧市生涯学習推進基本計画
- ・苫小牧市図書館基本計画

主要施策

1 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり

SDGs
17の目標



施策番号	市民一人ひとりのライフステージに応じた学ぶ機会の充実を図ります。
2322111	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな発達と学びの支援（赤ちゃん絵本のとびら事業等） ・成人の学びの継続と学びなおしの支援（ナナカマド教室事業等） ・障がいのある方の心豊かな生活に向けた学びの支援（障がい者パソコン教室事業等） ・すべての世代に対する学びの支援（学習機会の提供等） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	各施設の生涯学習関連講座開設数	講座	677	590	442		
	各施設の生涯学習関連講座受講者数	人	11,363	9,102	5,381		
今後の取組の方向性	<p>人々のライフスタイルや価値観などが多様化する中で、それぞれのライフステージに対する学習機会の充実、市民の主体的参加による「まちづくり」など、学習活動や社会参加に対する要請はますます強くなっています。</p> <p>多様化する学びのニーズに対応し、学びを維持・継続していくためには、ライフステージに相応しい学習機会の充実が不可欠です。引き続き、市民ニーズの変化を研究しながら、各種学習情報等を提供してまいります。</p>						

2 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり

SDGs
17の目標



施策番号	学んだ経験や成果をいかす活動を奨励し推進します。
2322121	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習成果の発表機会の充実（市民・団体などの自主企画公演・発表への支援等） ・人材を生かす場とセカンドライフ世代の活躍機会の充実（アウトリーチ推進事業等） ・ボランティア活動の啓発と支援（ボランティア活動の支援と協働事業の推進等） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	アウトリーチ推進事業実施件数	件	34	36	28		
今後の取組 の方向性	<p>市民が身に着けた知識や技能を発揮する機会や、還元する仕組みを整備・充実するとともに、学んだ経験や成果を生かすことから、新たな学びが生まれ、創造や工夫につながるという「学びが循環する体制」づくりが望まれています。</p> <p>これまで以上に、市民が生涯にわたりあらゆる機会、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に発揮できる生涯学習社会の実現とともに、社会や地域の様々な課題を解決するための取組を進めていくことが必要となりますので、発表や活躍機会の充実や支援等に努めてまいります。</p>						

2 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり

SDGs
17の目標



施策番号	学習グループや企業等との連携を強化し、協働に努めます。
2322122	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・団体・企業と行政の連携と融合（生涯学習に取り組む市民・団体への支援） ・協働学習の推進（生涯学習関連団体間の連携推進に向けた交流機会の充実） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	<p>学習グループや団体・企業の連携強化については、評価指標を設定することはできませんが、各種事業やイベントの際に異なるジャンルの団体が一堂に会する交流機会の創出や、相談支援等を行っています。</p>						
今後の取組 の方向性	<p>生涯学習機会の提供は、行政以外においても学習グループや生涯学習団体、企業などにより主体的に進められる事業にも見ることができます。これら先導的な主体がお互いの特性を生かすとともに連携することにより、市内公共施設や地域での学習機会が増えていくと考えられます。また、住み続けたい魅力あるまちを目指すためには、人や情報等の資源をいかに地域コミュニティに生かすかが課題となっています。</p> <p>このため、各主体の特性を生かした多くの学びの場の創設や、異なるジャンルの団体が一堂に会する機会の充実に努めます。</p>						

2 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり

SDGs
17の目標



施策番号	学んだ成果を地域コミュニティの形成や、未来への人材育成につなげる体制の拡充を支援します。
2322123	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の活性化や地域の学び、課題解決に向けた活動への支援 ・学校と地域社会の連携による子どもの学びの支援 ・まちづくりへの参加促進と市民参画プログラムづくり 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	出前講座の実施回数	回	397	330	177		
今後の取組の方向性	<p>生涯学習は、学習成果を地域づくりやまちづくりに生かすことにより、社会全体の発展を実現する基盤となるものと期待されていることから、地域の生涯学習活動を活性化させるとともに、学んだ成果を地域で有効に生かすためのネットワークづくりが重要となってきます。このため、地域活動の活性化や、学校と地域社会を結ぶ活動、地域課題に即した学習プログラムの支援に努めます。</p>						

3 活力を育み、ふれあいや語らいが深まる学びの環境づくり

SDGs
17の目標



施策番号	学ぶ意欲に即応できる情報提供体制の充実により、市民の学習活動の支援に努めます。
2322131	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の啓発、生涯学習情報の収集と発信（生涯学習だより等） ・情報の共有化による学習支援ネットワークの充実（適切な情報提供） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	生涯学習だよりの発行		維持	維持	維持		
今後の取組の方向性	<p>市民が生涯を通じて学びたいときに必要なことを学ぶことができる豊かな生涯学習社会を目指し、生涯学習に関する情報発信を強化していく必要があります。魅力ある情報誌づくりとともに、日常的に活用するデジタル世代に対応した情報発信や、情報の一元化等の利便性向上の取組等により、迅速かつ適切な情報提供に努めてまいります。</p>						

3 活力を育み、ふれあいや語らいが 深まる学びの環境づくり

SDGs
17の目標



施策番号	生涯学習関連施設の支援体制の整備や高等教育機関との連携に努め、学び合い、支え合い、高め合う環境づくりに努めます。
2322132	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習関連施設機能の活性化と相談体制の充実（生涯学習相談等） 高等教育機関の講座や教室との連携（連携講座の充実等） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	大学連携講座の開催（市民カレッジ）		維持	維持	維持		
今後の取組の方向性	<p>大学等の教育機関で実施している公開講座は、環境が整備されているものの十分浸透していないため、連携の拡大が課題となっています。 時代に対応した生涯学習関連施設機能を見直すとともに、高等教育機関との連携を進めてまいります。</p>						

3 活力を育み、ふれあいや語らいが 深まる学びの環境づくり

SDGs
17の目標



施策番号	多様な市民ニーズに応える図書資料や郷土資料の収集保存に努め、様々な社会環境の変化に適応する知識・情報の提供など図書館機能の整備拡充に努めます。
2322133	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料、郷土資料の充実 情報収集機能、情報提供機能、情報保存機能の充実 図書館という空間の魅力向上 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	図書館貸出資料数	千冊	861	804	691		
今後の取組の方向性	<p>図書館の基本的なサービスである資料・情報の収集・提供・保存機能の充実、各種イベントの開催に努めるとともに、滞在型の魅力的な図書館を目指し、市民に喜ばれ、市民生活を豊かにする図書館運営を進めます。</p>						

3 活力を育み、ふれあいや語らいが 深まる学びの環境づくり

SDGs
17の目標



施策番号	青少年の科学に対する興味・関心を高めるため、宇宙ステーション「ミール」の展示事業を始め、各種科学体験事業などの充実に努めます。
2322134	

担当部・課	教育部 科学センター	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○科学体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・科学センター学習 (対象:市内小学校5年生) ・移動科学センター (1回) ・科学ふれあい教室等 (18教室) ○天文普及活動 <ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム投影 ・星空観望会 (1回) ・移動天文教室 (1回) ○科学展示活動 <ul style="list-style-type: none"> ・夜間開館 (1回) ・ミールガイドツアー (6回) ・ミール展示館de科学遊び (1回) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	科学センター利用者数	人	105,500	99,246	39,391		
今後の取組の方向性	<p>科学センターは、施設・展示物の老朽化という課題を抱えていますが、職員が来館者に対し展示機器について丁寧に解説を行うとともに、科学ふれあい教室をはじめとする科学体験教室を充実させることで対応していきます。</p> <p>また、本市の観光拠点としても高く評価されている宇宙ステーション「ミール」の魅力について、「ミール・ガイドツアー」などの各種事業を行いながら、市内外に広く伝えていきます。</p> <p>これらソフト面を充実させることにより、青少年の科学に対する興味、関心を高める機会を提供できるよう努めていきます。</p>						

基本施策22 市民スポーツの推進

現況と課題

全国で初めてスポーツ都市宣言を行ってから50年を経た本市では、これまで「市民皆スポーツ」を推進していくために、様々なスポーツイベントの企画、各種スポーツクラブや団体の支援を始め、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツの振興にも努めてきました。

また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでも・どこでも・誰とでもスポーツに親しめるよう、各種スポーツ施設の整備・充実を図ってきました。

しかし、既存施設の多くにおいて、建設からの年数が経過し、老朽化が目立ち始めていることから、施設の改修や補修のほか、器具の更新に向け、早期に施設整備計画を立て、対応する必要があります。さらに、スポーツ競技人口が近年減少してきていることから底辺拡大を図るための対策が必要です。

基本目標

市民の誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツの普及・振興と技術向上を図るとともに、スポーツ施設の整備や有効利用、スポーツ競技人口の底辺拡大を目指します。また、夏の冷涼な気候や交通の利便性をアピールし、各種スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致活動を支援していきます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市スポーツ推進計画

主要施策

1 生涯スポーツの充実

SDGs
17の目標



施策番号	市民一人ひとりが健康で活力ある生活を目指し、性別や年代層に応じた様々な健康・体力づくりの事業を行います。
2322211	

担当部・課	総合政策部 スポーツ都市推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 各種スポーツ大会や教室等を開催 (16事業中、9事業コロナ禍で中止)						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	各種スポーツ大会等の開催	人	8,045	12,754	428		
今後の取組の方向性	市民一人ひとりが健康で活力ある生活を目指すとともに、これまでスポーツに関心が少ない方へのアプローチを行い、生涯スポーツを推進するため、軽スポーツ教室や大会などを開催していますが、コロナ禍の状況を見極め、実施可能な種目について、今後も継続していきます。						

1 生涯スポーツの充実

SDGs
17の目標



施策番号	「市民皆スポーツ」を推進するため、市民がスポーツに親しむ機会の拡大を図ります。
2322212	

担当部・課	総合政策部 スポーツ都市推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツ祭の開催 (8事業_5事業コロナで中止) ・八地区スポーツフェスティバル (17事業_11事業コロナで中止) ・健康ウォーキング事業の開催 スタンプラリーについて自宅周辺で実施できるように内容を変更し、フェスティバルを1回開催 ・トップアスリートによるスポーツ教室の開催 (2回) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	市民スポーツ祭参加者	人	1,374	2,404	751		
	八地区スポーツフェスティバル参加者	人	1,683	1,492	309		
	健康ウォーキング参加者	人	569	881	1,120		
今後の取組 の方向性	<p>コロナ禍でも市民がスポーツを楽しめる場を提供できるよう、他市の実施状況を調査しながら、市民皆スポーツの推進を図ります。</p>						

2 競技スポーツの充実

SDGs
17の目標



施策番号	競技力向上を目指すため、指導者の養成や、各種講習会や講演会を開催し、多くの市民に夢や感動・勇気を与える競技スポーツを推進します。
2322221	

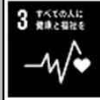
担当部・課	総合政策部 スポーツ都市推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ競技団体、スポーツ少年団、苫小牧市中学校体育連盟への助成 ・全国、全道スポーツ大会開催運営助成 (6大会開催予定中、3大会コロナで中止) ・苫小牧市スポーツマスター事業の開催 (2事業実施) ・氷上スポーツ育成事業の開催 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	全国、全道スポーツ大会開催	件	11	7	3		
	氷上スポーツ育成事業参加者	人	14,365	13,598	5,421		
今後の取組 の方向性	<p>コロナ禍の影響により、多くの人が集まる大会等の開催が非常に難しい状況にありますが、感染状況を見極め、競技スポーツの推進を図っていきます。</p>						

3 スポーツ施設の整備と活用

SDGs
17の目標



施策番号	市民スポーツの普及・振興と技術向上を図るため、サッカー場を始め既存のスポーツ施設の改修を計画的に実施し、また総合体育館の整備について武道場の在り方も含めて検討していきます。
2322231	

担当部・課	総合政策部 スポーツ都市推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・老朽化による故障に伴う修繕や工事等 (22件)						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	スポーツ施設利用者数	人	1,121,754	1,085,323	745,465		
今後の取組の方向性	スポーツ施設の半数以上が築30年を経過しており、課題が多くある状況ではありますが、優先順位を見極め、安全で安心なスポーツ施設の整備を行ってまいります。						

4 指導者の確保と養成

SDGs
17の目標



施策番号	市民の各年齢層のニーズに合わせ、適切なスポーツ活動ができるよう指導・助言を行なう指導者の育成・活用と効果的な指導体制を整備します。
2322241	

担当部・課	総合政策部 スポーツ都市推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧スポーツリーダーバンク派遣事業 (スポーツ指導者の登録と派遣) ※指導者登録76名、派遣事業についてはコロナ禍により中止 ・苫小牧市スポーツ少年団指導者母集団研修会についてはコロナ禍により中止 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	スポーツリーダーバンク派遣事業	件	21	23	中止		
	指導者母集団研修会参加者	人	40	中止	中止		
今後の取組の方向性	各世代にわたる適切なスポーツ指導は、その競技に関わらず成長過程における指導など、共通認識を持って注意しなければならないと考えています。今後につきましても、コロナ禍の収束状況を見極めながら、指導者の資質向上に努めていきます。						

5 国際、国内のスポーツ交流

SDGs
17の目標



施策番号	各種スポーツ大会を積極的に誘致・開催するとともに、国際・国内のスポーツ交流の充実を図り、活力あるまちづくりを目指します。
2322251	

担当部・課	総合政策部 スポーツ都市推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校選抜アイスホッケー大会についてはコロナ禍により中止 ・国際アイスホッケー中学生交流会についてはコロナ禍により中止 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	全国高等学校選抜アイスホッケー大会	人	886	814	中止		
	国際アイスホッケー中学生交流会	人	25	中止	中止		
今後の取組の方向性	<p>コロナ禍による事業の実施につきましては、非常に難しい状況にあります。感染対策をしっかりと行い、安全で安心して参加できる環境を整え、社会状況を見極めながら実施について考えて参ります。</p>						

6 各種スポーツ大会や合宿の誘致

SDGs
17の目標



施策番号	夏の冷涼な気候や交通の利便性などをPRし、各種スポーツの全国・全道大会や合宿の誘致活動を支援し、青少年を始め、様々な世代の競技レベルの向上に寄与します。
2322261	

担当部・課	総合政策部 スポーツ都市推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国、全道スポーツ大会の開催 (6事業_3事業コロナ禍で中止) ・スポーツ合宿等助成 (28件) 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	全国、全道スポーツ大会開催件数	件	11	8	3		
	スポーツ合宿等助成件数	件	155	145	28		
今後の取組の方向性	<p>大会や合宿についての誘致につきましては、コロナ禍においては非常に厳しい状況です。今後のコロナ禍の収束を見極めながら、平成30年度のピーク時に近づけるよう誘致活動を推進して参ります。</p>						

7 総合型地域スポーツクラブ育成
支援

SDGs
17の目標



施策番号	地域におけるスポーツ活動の新たな基盤として、地域住民が主体的に運営するスポーツクラブを支援し、市民の継続的なスポーツ活動を推進します。
2322271	

担当部・課	総合政策部 スポーツ都市推進課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・ 苫小牧市スポーツ推進審議会委員として運営に係る意見の聴取						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	総合型スポーツクラブ会員数	人	457	430	430		
今後の取組 の方向性	本市には、2つのクラブが運営されており、これまでも側面的な支援を行っております。今後につきましても、コロナ禍による活動制限がありますが、継続した支援を行い、地域住民主体の運営についてサポートして参ります。						

基本施策23 文化芸術の振興

現況と課題

文化芸術は、人々の創造性や表現力を高め、ゆとりと潤いのある地域社会を形成する重要な役割を担っています。少子高齢化や情報化の進展する社会背景の中で、多様化する市民ニーズに対応し、心豊かに暮らしていくためのまちづくりを進めるには、これまで培われてきた多様な文化を保存・継承するとともに、文化芸術に接する機会の拡大や活動の支援、環境を整備することなどが求められます。

(仮称)市民ホールについては、「(仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想」や「(仮称)苫小牧市民ホール建設基本計画」を踏まえ、新しい複合施設が多くの市民に親しまれるよう幅広く市民の意見を聞きながら、建設に向けた準備を進めていくことが必要です。

基本目標

市民が文化芸術活動に親しむことができるような支援体制の整備を促進するとともに、次世代の文化芸術を支える人材育成や、文化芸術の発表及び鑑賞機会の充実などに努めます。また、歴史的な財産の保存・活用を図り、文化芸術の振興に努めます。

(仮称)市民ホールについては、親近感と愛着の持てる憩いのプラザ（公共の広場）として、市民にとってのサードプレイス（「自宅」や「職場・学校」とは別の新しい第三の居場所）となることを目指します。

関連する個別計画

- ・第2次苫小牧市民文化芸術振興推進計画
- ・(仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想
- ・(仮称)苫小牧市民ホール建設基本計画

主要施策

1 文化芸術活動の促進

SDGs
17の目標



施策番号	文化芸術の振興に向け、全ての市民が文化芸術に触れる機会の充実や支援体制の整備などに努め、文化芸術に対する市民の意識高揚に努めます。
2322311	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	・市主催鑑賞型事業の開催（人形劇公演） ・市民参加型イベントの開催、支援 ・芸術家や文化芸術行事の情報提供、相談						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	市主催鑑賞型事業入場率	%	62.2	80.0	71.0		
	市主催文化芸術鑑賞事業の実施数	回	5	5	1		
	文化芸術振興助成件数	件	22	26	5		
今後の取組の方向性	文化芸術の薫りあふれるまちづくりのため、市民の意識高揚を図ることが必要です。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から4事業が中止となりましたが、今後も感染症対策を講じつつ、文化芸術の担い手は市民であるという認識を促していきながら、市民参加型イベントの実施や、市民の手によるイベント開催を支援するとともに、いつでも、どこでも、だれでも、多彩な文化芸術に親しめるように情報収集・提供してまいります。						

2 人材の育成

SDGs
17の目標



施策番号	優れた文化芸術を創造するためにはその担い手に優秀な人材を得ることが不可欠であるため、人材育成に努めます。
2322321	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等へのアウトリーチ推進事業 ・アーティストバンク事業 ・各種イベントでのワークショップや鑑賞機会の推進 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	アーティストバンク登録数	件	74	78	85		
今後の取組の方向性	<p>豊かな感性や創造性を育むためには、文化芸術への参加、鑑賞機会の促進が必要であり、また、優れた文化芸術を創造するためにはその担い手に優秀な人材を得ることが不可欠です。そのため、ワークショップや鑑賞機会を推進するとともに、文化団体はもちろん文化団体に所属していない若手芸術家等も発表できる場の提供や、指導者を育成する仕組みづくりに努めてまいります。</p>						

2 人材の育成

SDGs
17の目標



施策番号	文化芸術は人と人が交流することで広まり盛んになることから、市民参加イベントなど様々な場面において交流機会の拡充に努めます。
2322322	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型イベント開催における文化団体等との交流機会の拡充 ・文化団体協議会への継続的な支援 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	市民文化祭参加人数	人	5,266	5,454	1,194		
今後の取組の方向性	<p>市内外の芸術家や文化団体、サークル間の交流の活性化は、市の文化振興に大きく寄与するものです。そのため、市民文化祭などの参加型イベントなどにおいて、芸術家・文化団体等の交流機会促進、本市の文化団体の核となる文化団体協議会への支援を継続して行ってまいります。</p>						

3 文化芸術に触れる環境の整備と充実

SDGs
17の目標



施策番号	文化施設が地域の文化芸術活動の拠点・発信基地としての役割を充分果たすように、機能の充実に努めます。
2322331	

担当部・課	教育部 美術博物館	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展：科学と芸術という垣根を超えた領域横断的な芸術作品及び資料を紹介し、ロボットという言葉の誕生100年を記念して「生誕100年 ロボットと芸術～ヒューマノイド」を開催しました。 ・企画展：「水と生命～川と生き物のつながり～」、「紙とアートI：吉田傑 ダンボールといきもの」、「八王子千人同心と蝦夷地」、「総天然色！考古資料のあざやかな世界」を開催しました。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	美術博物館利用者数	人	34,882	28,643	19,915		
今後の取組の方向性	博物館と美術館機能を併せ持つ地域の総合博物館として、特別展・企画展等展示事業及び大学講座、郷土学習などの教育普及事業を実施します。さらに創造豊かな青少年の育成に努めるとともに企業・関係団体・ボランティア等と協働しながら多くの市民が文化芸術に接する機会の拡大に努めます。						

3 文化芸術に触れる環境の整備と充実

SDGs
17の目標



施策番号	常設展示内容の見直し、高齢者や障がいのある方、外国人に対応する環境の整備に努めます。
2322332	

担当部・課	教育部 美術博物館	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・身障者（車いす）等対応エレベータの適正な維持・管理に努めました。 ・多目的トイレ（オストメイト対応）の適正な維持・管理に努めました。 ・公衆無線LAN（Wi-Fi）の適正な運用（情報推進課）に努めました。 ・国の補助を活用し、常設展示「アイヌのくらしコーナー」の音声装置とカラーコルトン写真をリニューアルしました。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	バリアフリー対策	千円	96	146	36		
	常設展アイヌのコーナーリニューアル	千円	-	-	996		
今後の取組の方向性	開館してから36年を経過する常設展の更新は重要な課題と考えています。今後も高齢者や身障者にやさしい館の運営に努めてまいります。公衆無線LAN（Wi-Fi）を導入し来館者の利便性を図るとともに適正な運営に努めます。						

3 文化芸術に触れる環境の整備と充実

SDGs
17の目標



施策番号	2322333 博物・美術資料の収集保存・調査研究に努め、展示や各種事業を通して市民に還元するなど、知識・情報の発信に努めます。
2322333	

担当部・課	教育部 美術博物館	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、地域の自然資料や八王子千人同心の新資料の調査研究などを行い、企画展示や研究報告として発表することができました。 収蔵資料については、これまで収集に努めた地元作家の作品の調査研究を通じて、展示会として反映させることができました。 その他、各種講座や小学校の社会科授業など教育普及事業において、保存資料や調査研究の成果を活用しました。 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	博物・美術資料の収集	点	2	4	0		
今後の取組の方向性	資料の収集保存は文化を将来に継承するという美術博物館の重要な役割として認識し、それらを活かすための調査研究が進められています。市の財産として該当する要綱や基準に沿った所蔵すべき作品や作品等を収集・保存し実施計画・事業計画、市民ニーズ等を踏まえたうえで各種展示会や教育普及活動等を通じ今後も広く市民に還元していきたいと考えています。						

3 文化芸術に触れる環境の整備と充実

SDGs
17の目標

施策番号	(仮称) 市民ホールについては、これまでの検討を踏まえた新たな複合施設としての整備に努めます。
2322334	

担当部・課	市民生活部 市民ホール建設準備室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	------------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	市民ホール整備事業の概要を示した上で、文化団体や事業者との対話の実施、また、要求水準書素案の公表や公表資料に対する事業者等からの質問・意見に対する回答を実施しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	民間事業者との対話	事業者	27	-	38		
	民間事業者からの質問・回答	件数	-	-	351		
今後の取組の方向性	本事業をPFI事業の公募型プロポーザルで実施するにあたり、優先交渉権者を選定するための募集要項等の公表や事業者からの提案受付、審査を行う予定です。						

4 地域の歴史的文化遺産の保存と活用

SDGs
17の目標



施策番号	文化の発展を理解する上で欠かせない歴史的な財産の保存・活用を図り、次の世代につなげていきます。
2322341	

担当部・課	教育部 生涯学習課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-----------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催 ・指定文化財等の維持・管理 ・指定文化財等の周知、広報（文化財発見ツアー、パンフレットの作成・配布） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	文化財発見ツアー参加者数	人	37	33	35		
今後の取組の方向性	文化財は本市の歴史を理解する上で貴重な財産であり、保存・活用を図り、保護意識の高揚を目指していくため、美術博物館と連携を図りながら、指定文化財の充実に向けて取組みます。						

基本施策24 国際・国内交流の推進

現況と課題

ヒト、モノ、情報、サービスなど、あらゆるものが地域・国境を越え、行き交う現代社会において、市民一人ひとりが地域を理解するとともに、国内外の多様な文化を理解していくことは、ますます重要となります。国際交流では、姉妹・友好都市であるニュージーランド・ネーピア市、中国・秦皇島市との交流を行っているほか、子どもたちが海外を経験する機会の創出に努めています。また、留学生を始めとする外国人住民との交流や、外国人住民への日本語講座の開設などを通じて、まちの国際化を進めています。今後も、市民や国際交流関係団体と連携し、異文化への理解と多文化共生の取組を進めていく必要があります。

国内交流では、八王子市、日光市と姉妹都市の盟約を締結しており、全国でも珍しい三姉妹都市による交流を行っています。また、平成23年（2011年）には日光市、大洗町との観光パートナー都市協定を締結し、姉妹都市交流を契機とした新たな交流が広がっています。今後は、市民同士による交流の活性化が課題となっており、各分野において積極的に情報を発信していく必要があります。

基本目標

国籍や文化的背景に関わらず、市民一人ひとりが気軽に参加できる機会を提供することにより、国内外における交流を深めます。また、多様性を受け入れ、異なる文化を尊重できるような意識の醸成を図っていくことにより、暮らしやすく心の通ったまちづくりを進めます。

主要施策

1 国際交流の推進

SDGs
17の目標



施策番号	姉妹・友好都市との交流を継続し、地域に根ざした国際交流を推進します。
2322411	

担当部・課	総合政策部 国際リゾート戦略室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	苫小牧市、ネーピア市の両市において40周年記念パネル展を実施						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	本市から姉妹・友好都市への訪問者数	人	17	0	0		
	姉妹・友好都市から本市への来訪者数	人	12	5	0		
	※本市が主催・協力した事業の人数						
今後の取組の方向性	今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視し、国際姉妹都市であるネーピア市及び国際友好都市である秦皇島市との交流を継続・促進していけるよう、様々な分野での活動を推進します。						

1 国際交流の推進

SDGs
17の目標



施策番号	姉妹・友好都市を始めとした諸外国との地域レベルの交流を進めるため、市民ボランティアの拡大や国際交流関係団体との連携を図ります。
2322412	

担当部・課	総合政策部 国際リゾート戦略室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流ボランティアの募集、登録 国際交流関係団体主催イベントへの協力（国際交流員による通訳） 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	国際交流ボランティア登録者数	人	152	170	185		
	国際交流関係団体との共催イベント参加者数	人	70	85	-		
	国際交流関係団体主催イベント通訳業務	回	-	-	1		
今後の取組の方向性	地域レベルの交流を進めるため、国際交流ボランティアの登録拡大に努めます。また、国際交流関係団体と連携しながら、国際交流の機会を設けていきます。						

1 国際交流の推進

SDGs
17の目標



施策番号	多くの市民が国際交流に関わるきっかけを作るため、外国人と気軽に交流できる機会を提供します。
2322413	

担当部・課	総合政策部 国際リゾート戦略室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	令和3年度事業に向けての関係団体・ALT等との協議						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	ぐる～りWorld交流会	人	287	72	0		
	在苫外国人交流事業	人	150	0	0		
今後の取組の方向性	今後も新型コロナウイルス感染状況を注視した上で、国際交流関係団体と連携しながら地域レベルでの国際交流の機会を設けていきます。						

2 多文化共生と異文化理解の推進

SDGs
17の目標



施策番号	国際的な視野を持ち、地域で活躍できる人材を育成するため、子どもたちが外国の文化に触れる機会を提供します。
2322421	

担当部・課	総合政策部 国際リゾート戦略室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	令和3年度以降の事業再開に向けた関係団体との協議						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	高校生海外短期研修生派遣事業参加者数	人	3	0	0		
	こども国際交流事業参加者数	人	10	11	0		
	こども国際バスツアー参加者数	人	20	32	0		
今後の取組の方向性	<p>新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、今後も関係団体に御協力をいただきながら、子どもたちに様々な海外経験の機会を提供します。</p> <p>こども国際交流事業については、公共サービス民間提案制度を活用した上で、開発途上国への訪問およびSDGs（持続的な開発目標）を軸にした学習により中高生の国際的な視野の形成が出来るよう努めます。なお、感染状況を見極め、安全な状況での事業再開を検討します。</p>						

2 多文化共生と異文化理解の推進

SDGs
17の目標



施策番号	外国人住民の地域への参加を促すため、日本語学習の実施や活躍できる機会を提供します。
2322422	

担当部・課	総合政策部 国際リゾート戦略室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	国際交流ボランティアによる日本語教室の開催						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	日本語教室利用者数	人	1042	825	532		
今後の取組の方向性	<p>日本語教室は外国人の日常生活支援につながるとともに、日本人との交流のきっかけにもなっていることから、今後も新型コロナウイルス感染状況を注視した上で、ボランティアの協力のもと開催をしていきます。</p>						

2 多文化共生と異文化理解の推進

SDGs
17の目標



施策番号	日々の暮らしや手続に関する相談窓口を国際交流サロンに設置し、外国人住民の暮らしを支えます。
2322423	

担当部・課	総合政策部 国際リゾート戦略室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流サロンによる相談受付 (外国人住民および関係者からのE-mail、電話、来庁による相談) 国際交流サロン(市役所7階)スペースの拡充 ココトマ外国人相談窓口の新設 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	相談件数(国際交流サロン)	件	80	112	103		
	相談件数(ココトマ外国人相談窓口)	件	-	-	120		
今後の取組の方向性	<p>職員や翻訳機による多言語対応や国際交流ボランティアの協力により、外国人の相談に対応します。今後も多文化共生社会形成に向けて、より多くの外国人へ国際交流サロンを周知するとともに、迅速かつ丁寧な対応に努めます。</p>						

2 多文化共生と異文化理解の推進

SDGs
17の目標



施策番号	国籍や文化に関わらず、互いを尊重しながら暮らすことのできる意識の醸成に努めます。
2322424	

担当部・課	総合政策部 国際リゾート戦略室	反映区分	B (実現に向けて努力しているもの)
-------	-----------------	------	-----------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 中国語教室の開催 英会話教室の開催 Chit Chatの開催 国際理解講座の開催 						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	中国語・英会話教室・Chit Chat利用者数	人	636	464	246		
	国際理解講座参加者数	人	93	36	180		
今後の取組の方向性	<p>中国語教室や英会話教室の開催により、市民が外国語に触れる機会を設けます。また、国際理解講座の開催により、市民に異文化理解を推進する機会を提供していきます。</p>						

3 国内交流の推進

SDGs
17の目標



施策番号	姉妹都市である八王子市、日光市との交流について、教育、文化、スポーツ、産業などを通じ、相互の市民が参加できる交流を深めます。
2322431	

担当部・課	総合政策部 秘書広報課	反映区分	A (趣旨に沿って措置したもの)
-------	-------------	------	---------------------

施策評価表

具体的な取組 (R2年度)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、理事者等による相互訪問を中止しました。						
評価指標 (事業実績)	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	姉妹都市である八王子市・日光市との交流は盟約の締結によって広範な分野で交流を行っており、評価指数（事業実績）を設定することは難しいが、理事者間の交流や青少年交流等を継続しています。						
今後の取組の方向性	理事者レベルの交流を継続していくとともに、各分野における交流が広がるよう、市役所内部及び市民に対して姉妹都市の情報を共有していきます。						